

三重県入札等監視委員会 審議概要（令和元年度 第2回）

開催日及び場所	令和元年8月30日(金)14:00～16:00 JA三重健保会館 4階 中研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 長谷部 拓哉 委員 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸	委員5名中5名出席
審議対象期間	平成31年4月1日から令和元年6月30日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和元年度 第2回定例会（令和元年8月30日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①木曾岬干拓地工業用地 地区内道路改良工事〔桑名地域防災総合事務所〕	
<p>総合評価の地域貢献度の評価項目として、雪氷業務の元請実績が設定されている。当該工事の施工場所である木曾岬においては雪氷対策は必要がない場所だと思われるが、設定した理由は何か。</p> <p>総合評価の技術提案で、落札者のどのような点を評価したのか。</p> <p>総合評価の社会貢献度の評価項目として、県内産資材の使用と設定しているが、確認はどのように行うのか。</p>	<p>今回、入札参加資格の地域要件は桑名建設事務所の発注管内と重なっており桑名建設事務所が雪氷対策業務を発注していることもあり、雪氷対策が必要なエリアでの活動を実績とする業者にも参加してもらえるよう評価項目の一つとして設定している。</p> <p>施工方法や、施工順序、排水対策や工事車両の事故対策。また、施工箇所は自然生態系が非常に豊かなところであり、そういった環境への配慮にかかる提案を評価した。</p> <p>現場へ資材搬入前に、打ち合わせ等で使用材料はこれを使用するというので申請書類等で確認する。また、実際に現場でも材料確認を行う。</p>
工事名 ②松ヶ崎地区 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業補修更新その5工事〔松阪農林事務所〕	
<p>公告から開札まで約2か月を要しているが、理由は。</p> <p>総合評価の企業の技術力等の評価項目として、企業の工事実績として評価対象工事を設定しており、評価対象工事①は口径1,100ミリ以上の、評価対象工事②は口径500ミリ以上の機械器具設置工事で発注された揚排水ポンプ設備の工事実績を評価するとなっている。点数は①については30点、②については15点の配点であるが、口径の大小で必要な技術は違ってくるものなのか。</p>	<p>入札参加申請者から参考見積をとってから予定価格を作成、公表する見積徴収型の総合評価方式であること、ゴールデンウィークを挟んでの発注であったことから日数を要した。</p> <p>口径が大きくなればなるほど高い技術力が必要になる。</p>
工事名 ③主要地方道鳥羽松阪線（五十鈴ヶ丘高架橋） 橋梁耐震補強設計業務委託〔伊勢建設事務所〕	
<p>耐震補強工事とはどのような工事か。</p> <p>指名業者7者のうち3者が辞退しているが、考えられる辞退理由は何か。</p> <p>落札者の技術提案の主にどういったことを評価したのか。</p>	<p>橋脚については、強度を増すために、コンクリートや鋼板などで補強する。上部構造については、橋桁落下防止のため突起物を設けて橋げたが移動しないような施工をする。</p> <p>業務内容が防災・減災ということで、同種の業務が他にも多数発注があることが考えられ、その中で利益率により参加を判断したり、技術者配置の可否等により参加の判断したことが考えられる。</p> <p>鉄道に近接する工事であることの特徴、現場への進入方法、橋のどこがどのように弱いのかなど、業務にかかる現状についてしっかり把握し具体的に提案があったことを評価した。</p>

入札等監視委員会 令和元年度 第2回定例会（令和元年8月30日）	
意見・質問	回答
工事名 ④車両捜査支援システム整備工事〔警察本部〕	
<p>入札に関する問い合わせが複数者あったが、最終的に一者入札になっているが、他者が参加しなかった理由は何か考えられることはあるか。</p> <p>随意契約は考えられなかったのか。</p>	<p>聞き取り等は行っていないので不明である。</p> <p>競争性を確保するために競争入札で行った。</p>
その他	
<p>・次回、令和元年度第3回入札等監視委員会の開催日は、令和元年11月29日（金）の予定とする。</p>	